

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は1.6%減少 －

生乳生産量は750万8,261 tで、前年に比べ12万2,157 t (1.6%) 減少した。

これは、飼養頭数が減少したことに加え、夏期の猛暑の影響により搾乳量が減少したことによる。

図1 生乳生産量の推移 (全国)

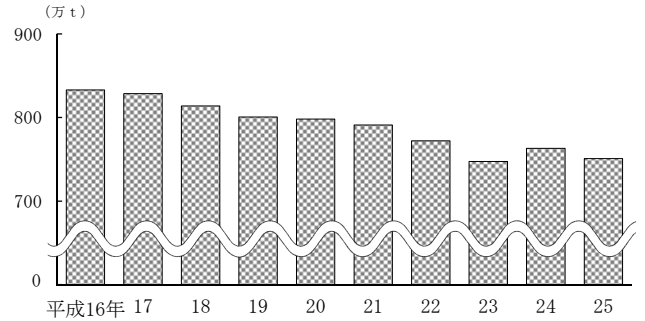


表1 生乳生産量

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国	北海道	都府県	全国	北海道	都府県
	t	t	t	%	%	%
平成24年	7,630,418	3,935,224	3,695,194	102.1	101.5	102.7
25	7,508,261	3,882,542	3,625,719	98.4	98.7	98.1

(2) 全国農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは51.7% －

全国農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が388万2,542 t (全国に占める割合51.7%) で最も多く、次いで関東が107万4,402 t (同14.3%)、九州が66万7,104 t (同8.9%) の順となっている。

図2 生乳生産量シェア (全国農業地域別)

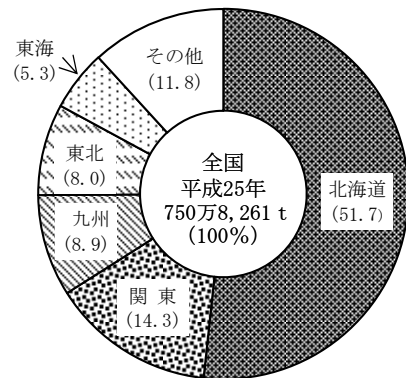


表2 生乳生産量 (全国農業地域別)

年次	単位: t												
	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
平成24年	7,630,418	3,935,224	613,626	102,534	1,092,061	131,292	404,841	201,970	307,129	136,631	677,061	28,049	
25	7,508,261	3,882,542	604,253	98,857	1,074,402	128,901	395,479	194,124	302,344	131,974	667,104	28,281	
対前年比 (%)	98.4	98.7	98.5	96.4	98.4	98.2	97.7	96.1	98.4	96.6	98.5	100.8	

(3) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は1.7%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は397万4,526 tで、前年に比べ6万9,344 t (1.7%) 減少し、乳製品向け処理量は347万6,528 tで、前年に比べ5万1,382 t (1.5%) 減少した。

図3 牛乳等向け処理量及び乳製品向け処理量の推移（全国）

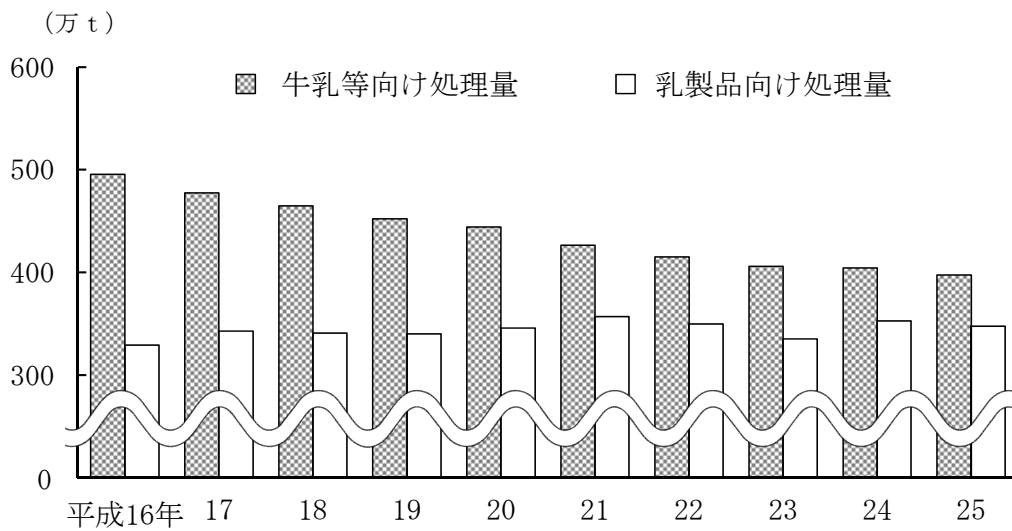


表3 生乳用途別処理量（全国）

年次	生乳生産量	用途別処理量					
		牛乳等向け	業務用向け		乳製品向け	その他向け	欠減
平成24年	7,630,418	4,043,870	313,883	3,527,910	58,638	12,443	
25	7,508,261	3,974,526	306,715	3,476,528	57,207	11,040	
対前年比 (%)	98.4	98.3	97.7	98.5	97.6	88.7	

単位：t

2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

— 牛乳生産量は1.2%減少 —

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は303万519k1で、前年に比べ3万7,734k1(1.2%)減少し、加工乳・成分調整牛乳生産量は47万6,068k1で、前年に比べ4万1,555k1(8.0%)減少した。

図4 牛乳及び加工乳・成分調整牛乳生産量の推移(全国)

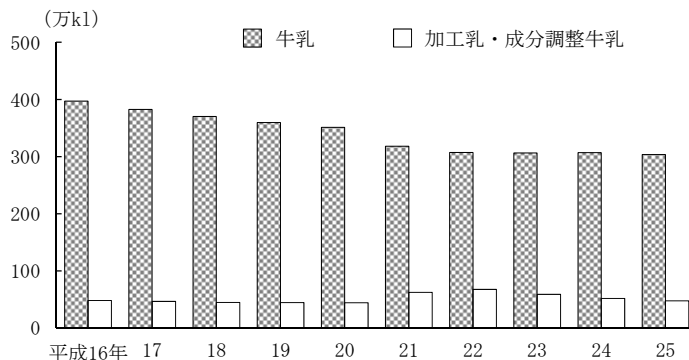


表4 飲用牛乳等生産量(全国)

単位: k1

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳			
			業務用	業務用	成分調整牛乳	成分調整牛乳
平成24年	3,585,876	3,068,253	294,079	517,623	34,036	367,468
25	3,506,587	3,030,519	286,883	476,068	35,251	347,371
対前年比(%)	97.8	98.8	97.6	92.0	103.6	94.5

(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

— 関東の飲用牛乳等生産量シェアは29.9% —

全国農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が104万7,925k1(全国に占める割合29.9%)で最も多く、次いで北海道が50万5,527k1(同14.4%)、近畿が41万3,569k1(同11.8%)の順となっている。

図5 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

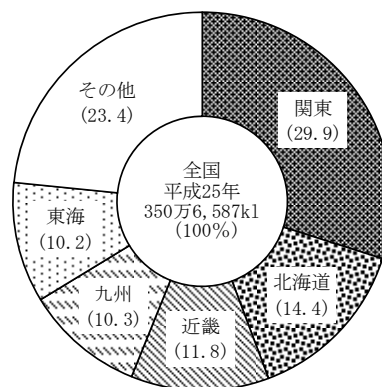


表5 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

単位: k1

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成24年	3,585,876	518,959	254,499	102,059	1,064,686	117,487	362,307	428,908	264,851	78,845	363,085	30,190
25	3,506,587	505,527	253,111	93,153	1,047,925	118,524	358,565	413,569	251,561	74,864	359,598	30,190
対前年比(%)	97.8	97.4	99.5	91.3	98.4	100.9	99.0	96.4	95.0	95.0	99.0	100.0

(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は2.6%増加 －

乳飲料の生産量は136万6,555kl、はっ酵乳の生産量は100万3,238klで、前年に比べそれぞれ3万5,276kl（2.6%）、1万9,672kl（2.0%）増加し、乳酸菌飲料の生産量は15万7,298klで、前年に比べ6,179kl（3.8%）減少した。

図6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移（全国）

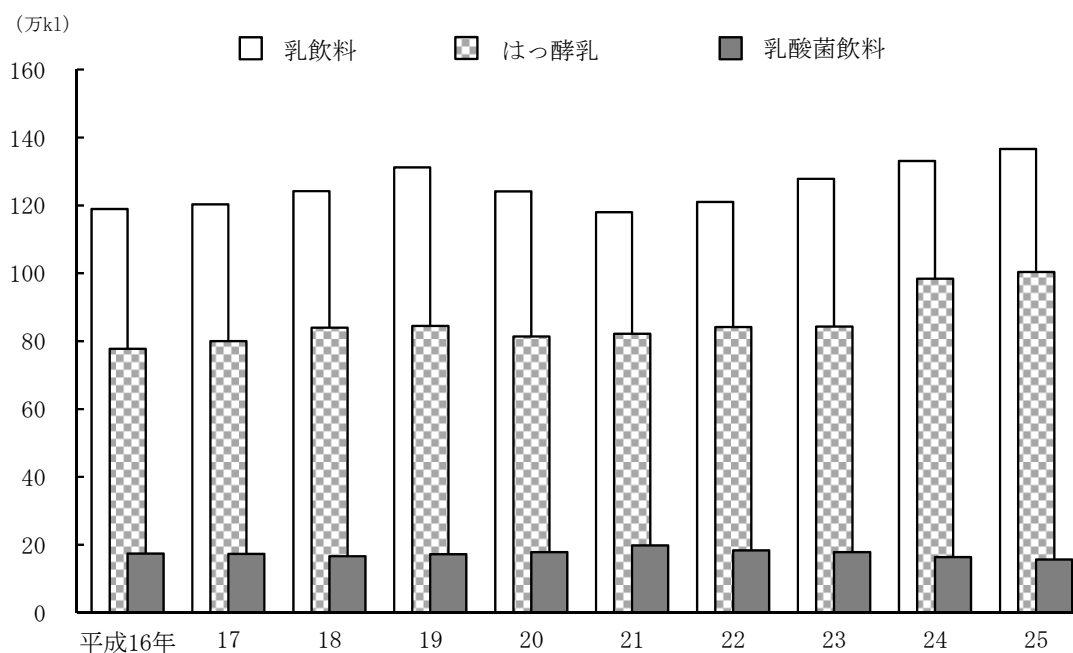


表6 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量（全国）

単位：kl			
年次	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成24年	1,331,279	983,566	163,477
25	1,366,555	1,003,238	157,298
対前年比 (%)	102.6	102.0	96.2

3 乳製品生産量

－ 脱脂粉乳は1.6%減少 －

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は13万6,354 t、チーズは13万5,093 t、バターは6万8,303 tで、前年に比べそれぞれ2,244 t (1.6%)、622 t (0.5%)、681 t (1.0%) 減少した。一方、クリームは11万3,502 tで、前年に比べ507 t (0.4%) 増加した。

図7 主要乳製品の生産量の推移（全国）

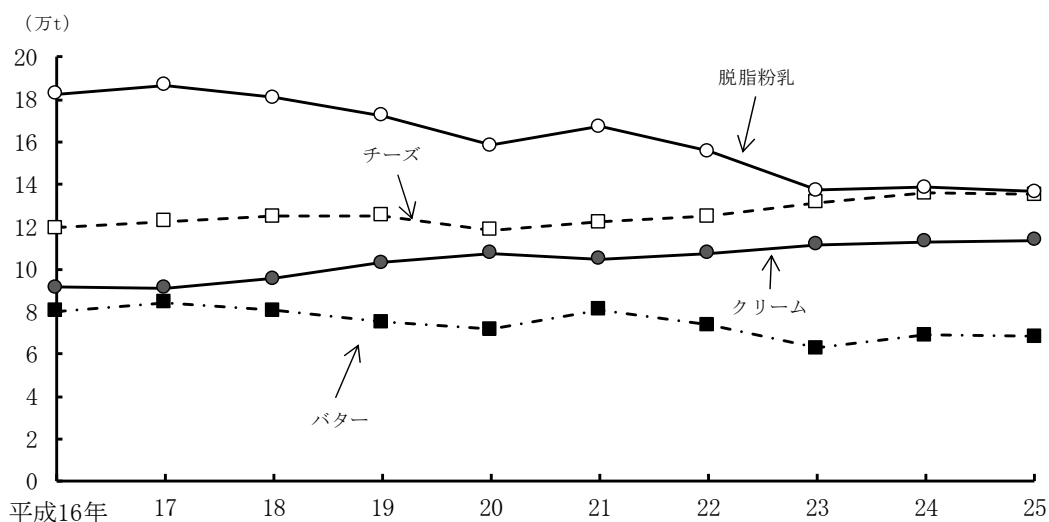


表7 乳製品生産量（全国）

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳	バター	クリーム
	t	t	t	t	t
平成24年	12,451	138,598	23,914	68,984	112,995
25	10,765	136,354	22,915	68,303	113,502
対前年比 (%)	86.5	98.4	95.8	99.0	100.4

年次	チーズ	直接消費用ナチュラルチーズ		加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	アイスクリーム
		t	t				
平成24年	135,715	21,856	37,800	723	4,836	138,046	
25	135,093	22,358	34,553	679	3,981	143,433	
対前年比 (%)	99.5	102.3	91.4	93.9	82.3	103.9	

注： アイスcream以外の乳製品の対前年比については、実数 (kg 単位) により算出しているため、表中の数値による算出結果と異なる場合がある。

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

ー 生乳を処理した工場数は556工場 ー

平成25年12月31日現在の牛乳処理場・乳製品工場数は606工場であった。

そのうち生乳を処理した工場数は556工場であり、生乳処理量が2t未満の牛乳処理場・乳製品工場が303工場、40t以上の牛乳処理場・乳製品工場が117工場となっている。

図8 生乳処理量規模別牛乳処理場・乳製品工場数の推移(全国)(12月31日現在)

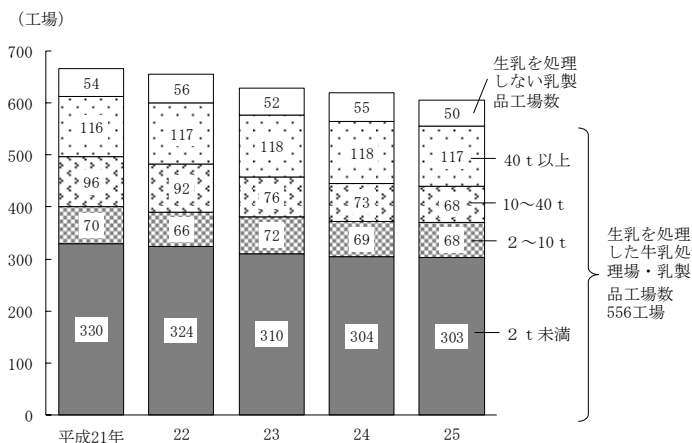


表8 牛乳処理場・乳製品工場数(全国)(12月31日現在)

年次	計	経営組織			12月の生乳処理量規模(1日当たり)							生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組合	個人・その他	2t未満	2～4	4～10	10～20	20～40	40t以上		
平成24年	619	456	43	120	304	37	32	30	43	118	55	
25	606	449	42	115	303	31	37	32	36	117	50	
対前年差	△13	△7	△1	△5	△1	△6	5	2	△7	△1	△5	

(2) 全国農業地域別処理場・工場数

ー 関東の処理場・工場シェアは20.8% ー

全国農業地域別の牛乳処理場・乳製品工場数をみると、関東が126工場(全国に占める割合20.8%)で最も多く、次いで北海道が105工場(同17.3%)、東北が65工場(同10.7%)の順となっている。

図9 牛乳処理場・乳製品工場シェア(全国農業地域別)

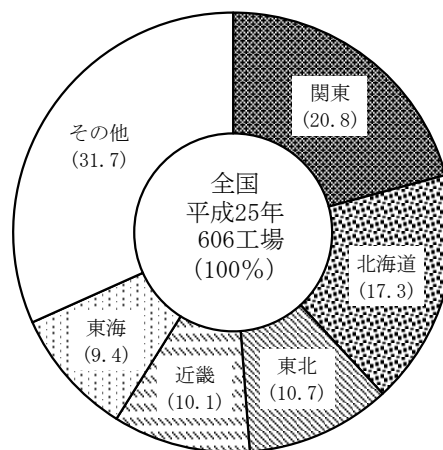


表9 牛乳処理場・乳製品工場数(全国農業地域別)

年次	全国	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成24年	619	107	69	48	125	32	59	61	44	10	54	10
25	606	105	65	46	126	31	57	61	42	10	54	9
対前年差	△13	△2	△4	△2	1	△1	△2	0	△2	0	0	△1

(3) 製造品目別処理場・工場数

－ 牛乳を製造した工場は 426 工場 －

平成 25 年 1 月から 12 月に飲用牛乳等を製造した牛乳処理場・乳製品工場数は 427 工場で、うち牛乳を製造した工場数は 426 工場であった。

また、乳飲料を製造した工場数は 250 工場であり、乳製品を製造した工場数は 295 工場、うちチーズを製造した工場数は 139 工場、乳脂肪分 8 % 以上のアイスクリームを製造した工場数は 130 工場となっている。

表10 飲用牛乳等及び乳飲料を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料
	計	牛乳	業務用		加工乳・ 成分調整牛乳	成分調整牛乳		
			学校給食用	業務用		成分調整牛乳		
平成24年	439	438	163	225	138	12	64	257
25	427	426	154	220	131	11	60	250
対前年差	△ 12	△ 12	△ 9	△ 5	△ 7	△ 1	△ 4	△ 7

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

表11 乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	乳製品											乳脂肪分8% 以上のアイス クリーム
	計	粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				
		全粉乳	脱脂粉乳	調製粉乳				直接消費用 ナチュラル チーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖 れん乳	
平成24年	296	13	30	5	67	78	134	117	24	5	11	134
25	295	13	29	5	65	76	139	118	24	5	10	130
対前年差	△ 1	0	△ 1	0	△ 2	△ 2	5	1	0	0	△ 1	△ 4

注：内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。

<参考>

－ 乳用牛の飼養動向 －

畜産統計調査（各年2月1日現在）

平成26年2月1日現在の乳用牛の飼養頭数は139万5,000頭で、前年に比べ2万8千頭(2.0%)減少した。

図10 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

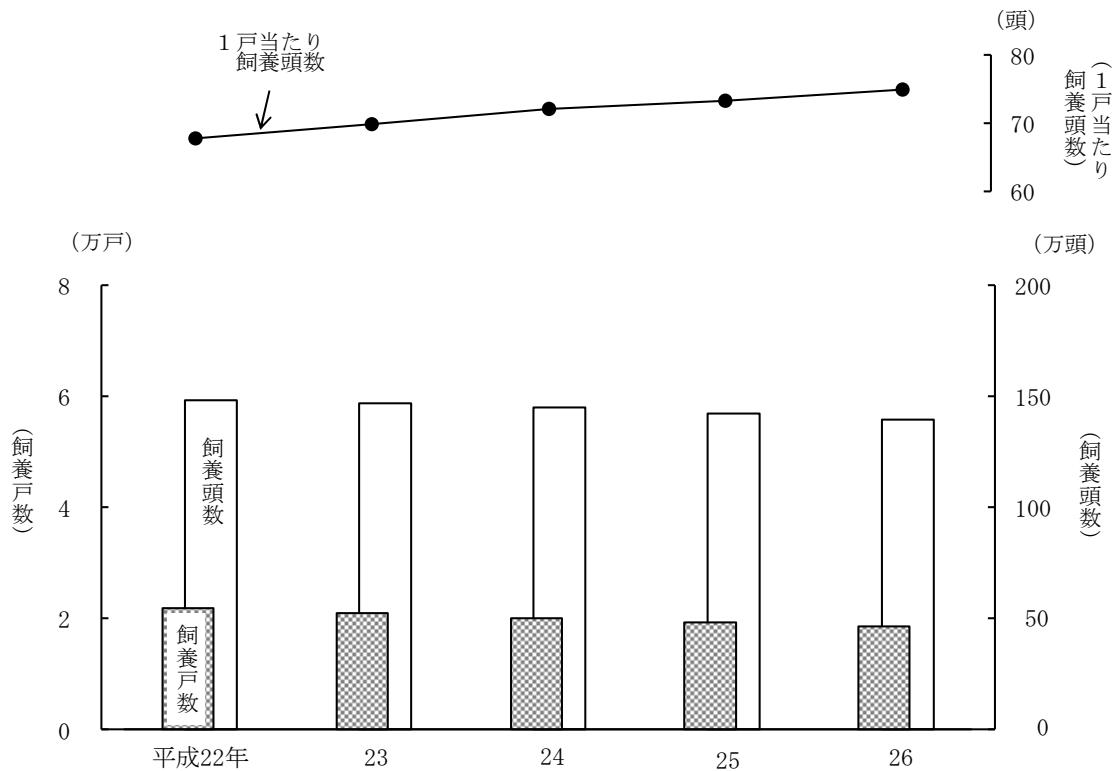


表12 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

区分	単位	平成22年	23	24	25	26
飼養戸数	戸	21,900	21,000	20,100	19,400	18,600
飼養頭数	頭	1,484,000	1,467,000	1,449,000	1,423,000	1,395,000
うち搾乳牛	頭	829,700	804,700	812,700	798,300	772,500
1戸当たり飼養頭数	頭	67.8	69.9	72.1	73.4	75.0